出雲医療生活協同組合
出雲市民病院
地域連携センターNews
22号

2026.1 発行
〒693-0021 出雲市塩冶町1536-1
出雲市民病院　地域連携センター
TEL：0853-21-2722（代表）
FAX：0853-21-8123
E-mail：tiiki-renkei@izumo-hp.com
URL：http//izumo-hp.com

■リハビリテーション・栄養サポート入院

日頃よりご高配を賜り誠にありがとうございます。

当院の地域包括ケア病棟では、在宅復帰支援を目的に、リハビリテーション（以下、リハビリ）と栄養管理を重点的に行うリハビリ・栄養サポート入院を積極的に受け入れています。

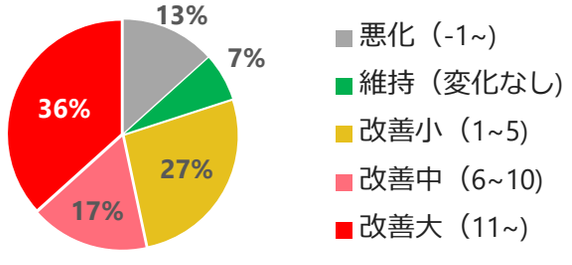
「リハビリ・栄養サポート入院」の患者様は年々増加しており、2024年度は18名、2025年4月～7月末までで18名の患者様が入院されました。

入院患者さんの「日常生活動作（ADL）」の変化を把握するために、FIM（機能的自立度評価）を用いて評価を行っています。入院前後のFIMの変化を集計しました。　（調査対象30名 2024年4月～2025年7月末）

調査の結果、多くの方で日常生活動作の向上が確認されました。（図１）

特に、**11点以上の大幅な改善例**が最も多く、積極的なリハビリや栄養サポートが良い結果につながっていると考えられます。

（図1）　入院前後FIM利得　N＝30



また、通常のリハビリに加え集団リハビリ（写真）を行い、離床時間を増やす工夫をしています。活動量を高め、回復と自宅での生活復帰を支えています。

地域包括ケア病棟では、多職種で日常生活動作の改善と維持を支えています。
今後も、「できること」を増やし、住み慣れた生活への復帰を支援してしていきます。

リハビリ・栄養サポート入院について よくある質問

Q どんな人が対象になりますか？
A 以下のような方におすすめです。
- 体力や筋力が低下して日常生活に不安がある方
- 転倒が増えてきた方
- 嚥下機能が低下してきた方
- 食欲低下や体重減少があり、栄養状態の改善が必要な方
- 自宅や施設での生活継続のため、一時的な入院が必要な方

Q どのくらいの入院期間が必要ですか？
A 患者さんの状態にもよりますが、一般的には1か月程度の入院が多いです。入院期間中に在宅復帰に向けた準備や調整を行います。

Q 費用はどれくらいかかりますか？
A 医療保険が適用されますので、一般的な入院と同様の費用負担です。

Q 入院するにはどうしたら良いですか？
A 病棟の空き状況によりますので、まずはかかりつけの先生または地域連携センター（担当：看護師 栗原）へご相談ください。紹介状があればスムーズな対応が可能です。

■新任医師ご紹介

さとう ひろし
内科：佐藤 博 医師

2026年1月よりお世話になる事になりました。一日も早く慣れて地域の皆様に信頼して頂けるように頑張ります！

※佐藤医師 外来：毎週木曜日
（受付時間）8:30~11:30

■外来からお知らせ

❖ 外科外来：岸本 彩奈　医師
第2,4週　火曜日（受付時間）8:30～11:30

鼠経ヘルニア（脱腸）や痔などの消化器系症状でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。
※手術が必要な場合は、該当科へ紹介させていただきます。